

令和5年6月27日
吉岡 政昭

高山委員長に、改めて「質問」をします。

高山さん、あなたは、議運の委員長として、問題解決のために、何をされたのですか？

私の知る限り、**委員長としてのあなたは、説明責任からトコトン逃げ、梅森委員の一時的「虚勢言辞」にしがみつき、最後まで責任を果たしませんでした。**何もしないで、**カラいばり**をしていただけです。

※ 一時的「虚勢言辞」とは。

(梅森議員) それにどうのこうのってことは、**発言した人(私)に直接聞くなり確認してもらえばいいだけの話**じゃないですか。

聞きたいことがあれば、オレ聞け。(答えるから)
そして、確認してもらえばいいだけの話じゃないか。

※ (前言をひるがえす「逆方向」発言。同じ日の同じ会議での発言。)

(梅森議員)・・・要するに、**私からは積極的に返事や回答はしないよ。**
(高山委員長) いやいや、**それはそちらにお任せすることだから。**

(梅森委員) この議事録を見て理解できないのであれば、個人的に来る分にはやぶさかでないけれど、**これに対して私が一つ一つ、返事を書きますよってことはしない。**

※ 「カラいばり」って？

令和4年9月議会の本会議で配布された議運からの「所掌事務調査報告書」の問題点を電話で指摘し、**議会運営委員会での再協議を希望した件に関して**

この時の高山さんの発言。

- ① 「私が会議に参加していたら、あんなことは、決めさせなかった。」
- ② 「〇〇に謝らせるかい？ どうして欲しいの？」

(私の返事：謝らせるのが目的じゃないので、必要はない。

議員の発言をチェック、制約したり、「議会運営委員会が議員を指導する」など法律的に問題が多い内容なので、議運での再協議を希望している」と述べた。

(因みに、報告書に「過去4年間の議会を振り返ると・・・」とあり、その個別事例が私の在職時代に絡む話の為、私にも発言の義務もあると考た。)

議運の「調査報告書」に、どんな「政治的カン」が、働いたのですか？

1, 私が感じる危険な発想と方向性

議運の「調査報告書」と8月1日（R4）議会運営委員会における梅森議員の発言との重複部分と「調査報告書」の根拠・理由になっている部分がある事から、ここで論じる趣旨としては、密接不可分のものとして整理したいと思います。

◎ 「調査報告書」（9）結果：②質疑のあり方について

事前に担当課に確認すればわかることを本会議の場で確認し、わかりましたで終わるのは、いかがなものか。
「基本の徹底を望む」

※ 梅森議員の会議発言・・・事前に電話で聞けばわかるようなことをああそうですか、わかりましたで終わる。
基本の徹底をして欲しい。

◎ 「調査報告書」（9）結果：③定例会終了後の議会運営委員会について

「過去4年間を振り変えると、それはダメだということは何回も繰り返す議員もいた。議会運営委員会で指導するなどして欲しい。定例会終了後、必ず、議会運営委員会を開催して欲しい。」

※ 梅森議員の会議発言・・・過去4年間、色々な問題があった。それはダメでしょうと言うことを何回も繰り返す人がいる。議会をやる前、やった後はきちんと反省をやるべきだ。議会運営委員会で指導すべきだ。

2, 私が感じた危険度の具体例・・・

- 1, 議員同士の「意見の違い」や「手法の違い」を、特定の間人が、公の機関を利用して排除しようとする意志が強く感じる。
- 2, 議会運営委員会の目的を取り違えていないか。法的裏付けを欠いた発想だ。
- 3, 根底には、気に入らない個人・政治潮流の排除の意図を感じさせる発言内容だ、
- 4, 「調査報告」が指摘した事例は、どれも研修事項だ。よりよい効果的質疑のためのテーマに過ぎない。それを排除の対象に変質させる意図を感じる。
- 5, 議員同士の相互批判や研修課題と排除項目との違いの認識の今日理解が求められる。
- 6, そもそも、議員活動や活動スタイルは、指導の対象にして排除するものではない。

私が高山委員長に動いて欲しいと期待したのは、議会運営委員会を開き、上記の「調査報告書」の問題点をさらに具体的に検討・分析して欲しかったことです。